

第2期吉川市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）【案】

第3期吉川市国民健康保険特定健康診査等実施計画【案】

～ 概要 ～

1 計画の趣旨

(1) 保健事業実施計画（データヘルス計画）

保険者は、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針により、レセプト等の健康・医療情報を活用して、PDCA サイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定した上で、保健事業の実施・評価・改善等を行うものとされています。

(2) 特定健康診査等実施計画

保険者は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、40～74歳の被保険者を対象とする、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための健康診査を行うにあたり、特定健康診査等実施計画を定めるものとされています。

◆当市では、保健事業実施計画（データヘルス計画）と第2期特定健康診査等実施計画の計画期間が平成29年度に終了となることから、被保険者の健康の保持増進と医療費の適正化を図ることを目的とし、第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）と第3期特定健康診査等実施計画を一体的に策定します。

2 計画の期間

計画の期間は、平成30年度（2018年度）～2023年度の6年間です。

3 計画の構成

- 第1章 計画の基本的事項
- 第2章 現状の整理
- 第3章 特定健康診査・特定保健指導の実施
- 第4章 保健事業の内容
- 第5章 地域包括ケアに係る取組
- 第6章 計画の評価と見直し
- 第7章 個人情報保護
- 第8章 計画の公表・周知



4 吉川市の現状

当市の国民健康保険被保険者は、少子高齢化の進展や社会保険の適用拡大などにより、減少傾向にあります。被保険者に占める前期高齢者の割合は増加しています。

| | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------------------|
| 国保被保険者(人) | 19,958 | 19,598 | 19,012 | 18,113 | |
| 前期高齢者(人) | 6,533 | 6,910 | 7,096 | 7,125 | |
| 前期高齢者の割合(%) | 32.7 | 35.3 | 37.3 | 39.3 | *前期高齢者：65～74歳の被保険者 |

(1) 医療の状況

高齢化の進展や医療の高度化等の影響により、一人当たり医療費は増加傾向にあり、脳血管疾患や虚血性心疾患など、生活習慣病を原因とする、予防可能な疾患が総医療費に占める割合は、国や県よりも高くなっています。

また、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用状況は、県市町村平均を上回る状況で推移していますが、「経済財政運営と改革の基本方針2017」における数量シェア目標値（平成32年9月までに80%以上）の達成に向けた取組が引き続き必要です。

生活習慣病の発症や重症化を予防するとともに、後発医薬品の利用促進などにより、被保険者の健康の保持増進と医療費の適正化を図ることが重要です。

一人当たり医療費の状況

| | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|-------------------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 被保険者全体 (円) | 吉川市 | 302,223 | 307,310 | 327,505 | 321,040 |
| | 県市町村平均 | 296,688 | 305,090 | 320,636 | 324,619 |
| (再掲) 前期高齢者 (円) | 吉川市 | 506,997 | 499,097 | 516,621 | 501,571 |
| | 県市町村平均 | 468,847 | 470,369 | 484,754 | 479,788 |

疾病別医療費の状況

| | 総医療費 | 医療費に占める割合 | | | | | | | | 予防可能な疾患 | |
|-----|------|-------------------|------|-------|------|------|-------|------|------|-------------------|-------|
| | | 重症化 | | | | 基礎疾患 | | | | | |
| | | 脳 | 心 | 腎 | | 高血圧 | 脂質異常症 | 糖尿病 | 医療費 | 割合 | |
| | | 脳梗塞 | 心筋梗塞 | 慢性腎不全 | | | | | | | |
| | | 脳出血 | 狭心症 | 透析あり | 透析なし | | | | | | |
| H28 | 市 | 5,013,391,810 | 2.3% | 2.1% | 7.2% | 0.3% | 5.1% | 3.1% | 6.9% | 1,353,350,050 | 27.0% |
| | 県 | 554,421,567,560 | 2.3% | 2.1% | 6.6% | 0.4% | 4.9% | 2.9% | 5.6% | 137,287,715,160 | 24.8% |
| | 国 | 9,677,041,336,540 | 2.2% | 2.0% | 5.4% | 0.3% | 4.8% | 2.9% | 5.4% | 2,237,085,545,700 | 23.1% |

*最大医療資源傷傷（調剤含む）による分類結果

*最大医療資源傷病名とは、レセプトに記載された傷病名のうち、最も費用を要した傷病名

入院・入院外件数と費用の割合

| | | |
|----|-----|-------|
| 入院 | 件数 | 2.5% |
| | 費用額 | 36.3% |
| 外来 | 件数 | 97.5% |
| | 費用額 | 63.7% |

(平成28年度)

後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用状況

| | | H26 | H27 | H28 |
|--------------|--------|------|------|------|
| 数量シェア (%) | 吉川市 | 64.9 | 68.7 | 75.2 |
| | 県市町村平均 | 59.2 | 62.5 | 68.7 |
| 利用率 (%) | 吉川市 | 58.8 | 63.0 | 69.8 |
| | 県市町村平均 | 53.1 | 57.2 | 64.3 |

(2) 介護の状況

要介護者の有病状況をみると、1号・2号認定者のいずれも心臓病が1位であり、脳疾患や糖尿病も5位以内となっています。いずれの疾患も、生活習慣病である高血圧や脂質異常症、メタボリックシンドロームと関連があります。

特定健診受診率や特定保健指導実施率の向上を図り、生活習慣病の予防や早期発見に努めることは、介護予防にもつながります。

要介護者有病状況（平成28年度）

| | 2号認定者（90人） | | | 1号認定者（1,952人） | | | | | |
|----|------------|-------|-------|---------------|-------|-------|--------------|-------|-------|
| | 有病状況 | 人数(人) | 割合(%) | 65～74歳（363人） | | | 75歳～（1,589人） | | |
| | | | | 有病状況 | 人数(人) | 割合(%) | 有病教協 | 人数(人) | 割合(%) |
| 1位 | 心臓病 | 30 | 33.3 | 心臓病 | 167 | 46.0 | 心臓病 | 1,016 | 63.9 |
| 2位 | 筋・骨格 | 27 | 30.0 | 筋・骨格 | 137 | 37.7 | 筋・骨格 | 850 | 53.5 |
| 3位 | 脳疾患 | 20 | 22.2 | 脳疾患 | 109 | 30.0 | 精神疾患 | 659 | 41.5 |
| 4位 | 精神疾患 | 15 | 16.7 | 精神疾患 | 101 | 27.8 | 脳疾患 | 463 | 29.1 |
| 5位 | 糖尿病 | 14 | 15.6 | 糖尿病 | 95 | 26.2 | 糖尿病 | 381 | 24.0 |

*有病状況は重複があるため、認定者人数と一致しません。

（出所：KDB）

要介護認定者と認定のない者の1か月当たり医療費（平成28年度）

| | |
|----------------|--------|
| 要介護認定者（40歳以上） | 9,676円 |
| 要介護認定なし（40歳以上） | 3,766円 |

(3) 特定健診の状況

特定健診受診率は、年々上昇し、特定保健指導実施率は、県市町村平均を大きく上回る状況で推移していますが、国の目標値である60%には及んでいません。

特定健診の受診結果をみると、男女とも、メタボリックシンドローム予備軍・該当者の割合は国・県より高く、男性では、約30%がメタボリックシンドローム該当者です。

また、特定健診受診者と未受診者の生活習慣病にかかる1か月当たりの医療費をみると約4倍の差が生じており、特定健診の受診は医療費適正化の面において有用であることがわかります。

| | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 特定健康診査受診率(%) | 吉川市 | 33.3 | 36.9 | 37.6 | 42.1 |
| | 県市町村平均 | 35.5 | 37.2 | 38.6 | 38.9 |
| 特定保健指導実施率(%) | 吉川市 | 50.5 | 45.8 | 37.5 | 44.6 |
| | 県市町村平均 | 17.6 | 16.1 | 16.7 | 17.9 |

メタボリックシンドローム予備軍・該当者の割合（平成28年度）

| | 男性 | | | 女性 | | |
|-----|------|------|------|------|------|------|
| | 市(%) | 県(%) | 国(%) | 市(%) | 県(%) | 国(%) |
| 予備軍 | 18.1 | 17.3 | 17.2 | 7.2 | 5.8 | 5.8 |
| 該当者 | 30.6 | 27.1 | 27.5 | 10.5 | 9.3 | 9.5 |

生活習慣病にかかる1か月当たり医療費（平成28年度）

| | |
|--------|---------|
| 健診受診者 | 7,810円 |
| 健診未受診者 | 31,511円 |

5 目標

医療・介護・健診の状況から、被保険者の健康の保持増進や医療費の適正化を図るため、下記を目標とします。

(1) 保健事業実施計画（データヘルス計画）

◆短期目標

- ・高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドロームの減少

◆中長期目標

- ・脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の有病者や医療費の伸びの抑制
（現状維持または減少）
- ・入院件数・入院費用の減少

(2) 特定健康診査等実施計画

- ・特定健康診査受診率 60%（2023 年度）
- ・特定保健指導実施率 60%（2023 年度）

6 実施する主な保健事業

(1) 特定健康診査

対象者が受診しやすい環境づくりに努めるとともに、受診率向上のための未受診者対策、継続受診対策を実施します。

(2) 特定保健指導

生活習慣の改善を促し、生活習慣病の予防・重症化予防を図るための保健指導を実施します。

(3) 糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病の未治療者・治療中断者に対する医療機関への受診勧奨や、重症化するリスクの高い糖尿病性腎症患者等に保健指導を実施します。

(4) 健康講座

被保険者をはじめ、市民や地域組織などを対象とした健康講座を実施します。

(5) 健康体力づくりポイント制度

健康づくり・体力づくりに関する取組をポイント化し、楽しみながら、自主的に健康づくりに取り組むことができる事業を実施します。

(6) 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の利用促進

後発医薬品の利用促進を図るため、後発医薬品利用希望シールの配布や差額通知の送付を実施します。

7 計画の評価と見直し

計画は、毎年度、PDCA サイクルに基づき評価し、その結果から必要に応じて計画を見直します。

